

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年 2月 19日

公表: 令和6年 3月 1日

事業所名: 児童デイサービス・アニマートさのStudy

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			学習に集中できるように、学習スペースと交流スペースをパーテーションを使い対応しております。
	2 職員の配置数は適切である	7		法令の配置基準を満たしております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		ほぼ平らで車いすでも通れるが、トイレの出入口に段差がある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		毎日の打合せ時でも気になる点や問題点を話し合いを行っています。	日々の打合せや職員会議・支援会議、活動会議等での話し合いの場を多く設けながら、目標設定や振り返りを行っております。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			今後も、保護者様のご意見やいただいたアンケート結果に真摯に向き合い、職員間で情報を共有し、話し合い業務改善を行っていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		法人のホームページ内で公表させていただいております。	今後も自己評価と保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の結果を法人のホームページで公開をStudyだよりで周知していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			虐待防止委員会や苦情申出窓口を設置いたしました。それぞれの規定は、事業所の相談室に掲示しております。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		それぞれの職員が研修会に参加しております。	研修参加者が全職員に研修内容を会議で報告しております。また月1回、ケース会議を行い職員でより良い支援方法を考え全職員と情報共有をしております。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		年に一度、アセスメントの変更を確認しております。	初回ご利用にあたって契約時にこれまでのお子様の様子を伺っております。相談支援員と必要な情報を共有することで、お子様と保護者様のニーズが適切に反映させるように努めてまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			今後も事業所のアセスメントや相談事業所との情報を共有することで情報把握に努めて参ります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		月1回の活動会議を実施し、各活動について意見交換をしている。	制作・運動・ソーシャルスキルトレーニング・MIMアセスメント・間トトレーニング・当番活動をお子様の状態にあわせ、めあてを明確にし、活動会議で立案しております。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		ねらいに沿って楽しく活動に参加できるように工夫した活動を行っています。	学習では、宿題の定着ができるようにし、お子様に合わせた学習方法を保護者様、お子様、職員で話し合いできる方法を考えて取り組んでいます。板書や音読がスムーズになるように眼球運動を取り入れたビジョントレーニングを行うなど、お子様の学習が幅広く行われるようにしております。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			土曜日や長期休暇中は、戸外遊びや社会性を養う目的として買い物学習を取り入れています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			ご利用者様の発達段階に応じて、個別活動や集団活動を適宜組み合わせ、達成感を得られるように今後も工夫して参ります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		打合せファイルを活用し、支援内容の確認と職員間の情報共有をしています。	毎日打合せを支援前に行っています。今後も集団活動内容の確認や役割分担や先週の様子などを伝えることで適切な支援が行われるように励んで参ります。また、打ち合わせに参加できなかった職員のため内容の記録をして知らせている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		連絡ノートや打合せファイルを利用してご利用者様の様子を記入し情報共有をしております。	退勤時間が異なるため、その日のうちにすべての振り返りは難しいが、口頭や打ち合わせファイルを使い、共通理解を図っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		連絡ノートや打合せファイルを利用してご利用者様の様子を記入し情報共有をしております。	支援後にはできるようになったことや次回配慮を要する点などを話し合い、適切な支援が行われるように努めています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			半年に一度の面談時に保護者様に個別で目標を伺い、個別支援計画を作成しております。ご利用者様、保護者様の目標が支援に反映できるように日々の支援に努めて参ります。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7		定期的にガイドラインの総則を読み合わせをしています。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児童発達支援管理責任者が参加しています。		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		学校や送迎利用している保護者様のご協力のもと下校時刻表をいただいております。また、行事や下校時刻の変更等は事業所にご連絡いただけるように、保護者様にもご協力いただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			現在は医療的ケアが必要なお子さまをお預かりする体制が整っていないためお受け入れをしておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		児童発達支援事業所や相談事業所との情報共有をしております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		研修会に参加し職員会議等で研修報告を行っております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7		個人情報への配慮や感染状況を考えながら、必要に応じて検討しております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		担当職員等が本日のお子さまの様子をリズムや送迎時の伝えさせていただいております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7		送迎時や事業所内相談等では、職員が受けた研修内容や事業所での成功体験を保護者様に必要に応じてお伝えしております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		管理者・児発管が契約時に保護者様にわかりやすく丁寧な説明を心がけております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		事業所内相談支援を随時受け付けております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		今年度は、保護者会が実施させませんでした。しかし、アニマートコンサート等での交流ができました。来年度は、開催を考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		入口付近に意見箱が設置しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月、活動予定表やStudyだよりを発行しております。入口に掲示しています。
	35	個人情報に十分注意している	7		苦情に関しては管理者が随時、対応させていただいております。管理者が中心となり職員と連携し迅速に対応できるように強化しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		毎月、活動予定表を発行しています。また随時、Study便りを発行し、事業所でのお子様の様子をお伝えしております。4月号では、職員の紹介をしています。長期休業中は、特別号を発行しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		全職員に対して、秘密保持の遵守の徹底を図っていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		職員間では感染症や避難場所等について共有をしております。保護者様には4月の年度始めに感染症についてのお願いと避難所のお知らせをお配りしております。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		避難訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		春休みと夏休みの年間2回、地震時の避難経路・避難場所の確認を行っております。実際に子どもたちも避難経路を歩き危険箇所の確認を行いました。また水や非常食用などの防災グッズを非常時バッグに入れて備えています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		虐待防止委員会のもと事業所では、年に3回全職員で研修を行っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		身体拘束に当たっては緊急やむを得ない場合を除き禁止されていることや身体拘束を行わざるを得ない事態を想定した対応について職員間で共通理解をしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		事務所・お菓子の保管場所には、アレルギーがあるお子さんの情報を掲示しております。
				支援活動中・送迎時等でのヒヤリハットとした事例を伝え合う。	更新面談時のアセスメントシート確認時に、食物アレルギー調査を実施します。アレルギーがあるお子様には、おやつを持参していただき管理して提供しております。
				全職員が日々の小さな気づきをヒヤリハット報告書に事例として記載し、全職員が話し合い情報を共有し安全に努めて参ります。	